



主な
内容

- 平成27年度決算報告
- まちの話題
- かほく市からのお知らせ
- くらしの情報
- かほくチャンネル番組ガイド

- ... 2
- ... 6
- ... 9
- ... 18
- ... 26

6月にみんなで植えた苗がこんなに大きくなりました！ひまわり保育園の3歳から5歳児が「いきいき農園」のみなさんに掘り方を教えてもらい、たくさん芋を収穫しました。

決算報告書

皆さんからの税金や、国・県からの補助金を、私たちの生活をよりよくするために、様々な形で使わせていただきました。これらがどれくらい納められ、どのように使ったのかを一般会計を中心にお知らせします。

一般会計総括

一般会計の歳入総額は157億7287万円、歳出総額は148億1146万円となり、歳入歳出の差し引き額は9億6141万円(うち8523万円は翌年度へ繰越)、実質収支額は8億7618万円の黒字となっています。平成27年度の重点施策として取り組んだ4本柱の1点目「新たなひとの流れの創出と定住促進」では、国・地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、「若者マイホーム取得奨励金」を拡充しました。北陸新幹線金沢開業を契機にさらなる賑わいを創出するため、道の駅高松里海館にも足湯を設置しました。また、哲学館を核とする情報発信として、西田幾多郎博士の没後70年記念事業を開催するとともに、やんたろうを活用したかほく市のPRにも努めました。

2点目の重点施策の「地域産業の活性化と安全・安心なまちづくり」では、地域産業への積極的な支援として、平成26年度に引き続き、創業者支援や特産品開発支援に係る補助制度を実施しました。また、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金を活用し、商工会が実施する商品券にプレミアムを付与し、地域の消費喚起に努めました。農業基盤の確立支援としては、地域農産物ブランド6品目のPRのため販売促進コマーシャル放映等に助成しました。安全に暮らせる防災基盤の強化としては、地区集会施設の耐震化経費に対して助成するとともに、県のグリーンニューデイール基金事業を活用し、庁舎屋上に太陽光発電設備および蓄電設

備を設置して、災害時の対策本部となる庁舎の機能強化を図りました。さらに、これまで同様、自主防災組織への活動支援として市独自の防災士一斉訓練や防災士の育成を取り組みました。3点目の重点施策の「健康で豊かな暮らしの実現」では、子育て支援の充実として、子どもや育てに関する相談窓口を一元化するため、宇ノ気生涯学習センター内に、子ども総合センター「おひさま」を開設しました。また、児童福祉施設では、愛・遊・館および木津児童館をリニューアルし、子育て関連施設の充実強化を図りました。また、津幡町、内灘町、かほく市の共同事業として、病気療養中の子どもを一時保育預かりする病時保育の運営準備に取り組みました。教育環境の充実としては、集団における状況や意欲、満足度を調査するQU調査を実施しました。また、小学校3年生から中学校3年生を対象とした総合学力調査や35人以下の学級について継続して実施しました。健康づくりへの取り組みとしては、国の第2次国民健康づくり運動を踏まえ、第2次かほく市健康プラン21を策定しました。

4点目の重点施策の「持続可能な行財政基盤の確立」では、平成26年度から継続して実施していました。第2次かほく市総合計画については平成28年3月に、地方創生に関連した地方版総合戦略については平成27年10月に策定しました。また、マイナンバーカードのシステム整備ならびに市民に対し個人番号カードの通知を実施しました。

限られた予算の中で最大限の効果が現れるよう、事業の「選択と集中」を実施し、迅速かつ適切な予算の執行に努めました。

平成27年度に実施した主な事業

・若者マイホーム取得奨励金の継続	6,403万円
・観光施設魅力アップの実施（道の駅等）	1,003万円
・西田幾多郎記念哲学館を核とした情報発信	5,687万円
・創業者支援・特産品開発の助成	450万円
・プレミアム商品券の発行	6,375万円
・地域農産物PRコマーシャルの助成	45万円
・地区集会施設耐震化の助成	710万円
・災害対策本部の機能強化	3,348万円
・子ども総合センターの開設	1,373万円
・愛・遊・館リニューアル工事の実施	3,802万円
・木津児童館リニューアル工事の実施	3,992万円
・QU調査の実施	252万円
・小学校の35人以下学級の継続実施	709万円
・地方版総合戦略の策定	518万円
・マイナンバー制度の導入	1億765万円



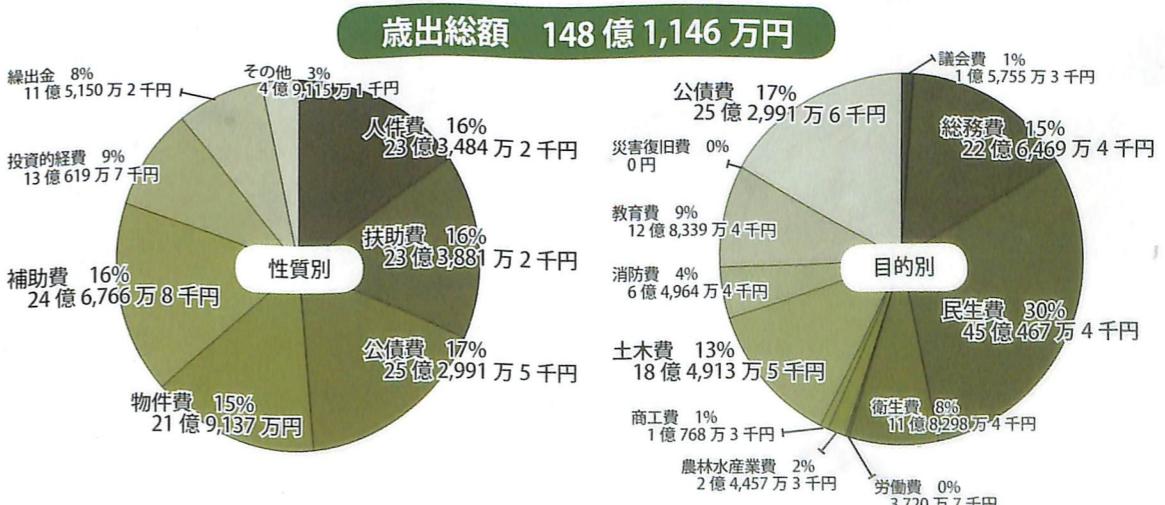
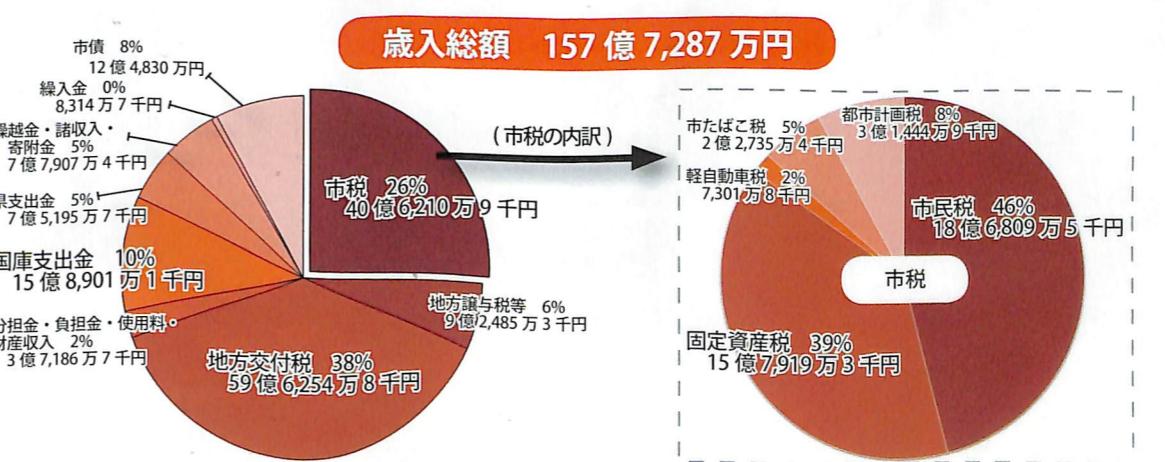
一般会計・特別会計・公営企業会計の決算額一覧

◎一般会計および特別会計決算額一覧

会計名	歳入 決算額	歳出 決算額	歳入歳出差引	翌年度に繰り越すべき財源	実質収支
一般会計	157億7,286万6千円	148億1,145万6千円	9億6,141万円	8,523万5千円	8億7,617万5千円
市営バス事業特別会計	3,360万8千円	3,277万5千円	83万3千円	0	83万3千円
墓地特別会計	1,030万1千円	1,030万1千円	0	0	0
ケーブルテレビ事業特別会計	1億1,103万4千円	8,524万4千円	2,579万円	0	2,579万円
国民健康保険特別会計	41億7,971万9千円	41億4,809万8千円	3,162万1千円	0	3,162万1千円
後期高齢者医療特別会計	3億4,595万2千円	3億4,553万4千円	41万8千円	0	41万8千円
介護保険特別会計	29億2,657万8千円	28億5,448万7千円	7,209万1千円	0	7,209万1千円
大海財産区特別会計	286万6千円	70万3千円	216万3千円	0	216万3千円
計	233億8,292万4千円	222億8,859万8千円	10億9,432万6千円	8,523万5千円	10億909万1千円

◎公営企業会計決算額一覧（消費税を除く）

会計名	区分	収入決算額	支出決算額	収入支出差引	備考
水道事業	収益的収支	6億4,547万円	5億9,948万7千円	4,598万3千円	
	資本的収支	1億9,429万6千円	3億9,147万6千円	▲1億9,718万円	内部留保資金等により補填
下水道事業	収益的収支	19億6,230万7千円	17億8,131万6千円	1億8,099万1千円	
	資本的収支	3億8,522万5千円	13億2,244万2千円	▲9億3,721万7千円	内部留保資金等により補填



問い合わせ先
財政課
TEL 283-7128

平成27年度 決算報告

税を考える週間（11月11日～17日） テーマ：『くらしを支える税』

平成28年度の「税を考える週間」は、『くらしを支える税』をテーマとして、税の役割や適正・公平な課税と徴収の実現に向けた国税庁の取り組みについて次のとおり紹介します。

*国税庁ホームページによる広報

- 特設ページを設け、国税庁の各種取り組みを紹介

*ツイッターによる情報発信

- インターネット番組【Web-TAX-TV】や新着情報などを発信

*講演会や作品展などの実施

- 社会人や大学生を対象とした講演会や説明会を実施

平成28年分 年末調整説明会のご案内

開催日	時間	会場	対象
11月16日（水）	14時～16時	石川県地場産業振興センター 本館 大ホール (金沢市鞍月2-1)	本店法人のうち ア行～サ行
11月17日（木）	10時～12時		本店法人のうち タ行～ワ行
	14時～16時		官公庁・支店法人等、個人

【問い合わせ先】金沢税務署 TEL 261-3221

無料税務相談のご案内

北陸税理士会金沢支部では「税を考える週間」の期間中、無料税務相談を以下により実施します。是非ご利用ください。

開催日	時間	会場
11月11日（金）	10時～16時	金沢市役所 1階エントランスホール（金沢市広坂1-1-1）

【問い合わせ先】北陸税理士会金沢支部 TEL 223-1841



★税務職員を装った不審な電話にご注意ください！

国税局や税務職員を名乗る者から電話があり、マイナンバー制度に関するアンケートや年金受給調査と称して、「年齢や家族構成」・「年金の受給状況」・「預金残高や口座情報」といった様々な【個人情報】を聞き出そうとする事例が発生しています。
税務署が電話でアンケートを行うことはありませんので、不審な電話等があるときは、即答を避け、最寄りの税務署または警察署にお問い合わせください。

マイナンバーキャラクター
マイナちゃん

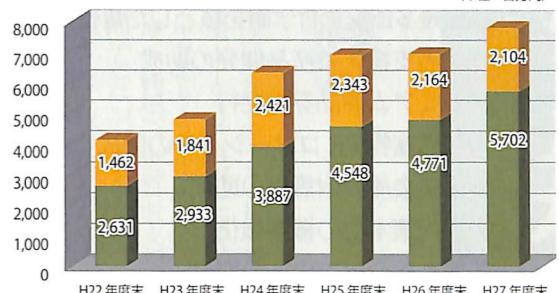
かほく市の預貯金と借金は？

基金（市の預貯金）残高の推移ですが、庁舎建設基金やまちづくり基金などを中心に、約8千万円を取り崩しましたが、財政調整基金などに約9億5千万円を積立したことにより、基金残高は、約8億7千万円増加して、約78億1千万円となりました。（財政調整基金とは、年度間の財源の不均衡を調整するための基金です。）

一方、市債（市の借金）残高は新しい市債の発行を抑えたことから減少しています。また、市債には合併特例債等、国の補填がある有利な地方債を活用しているため、実質的な将来への負担は年々減少しています。

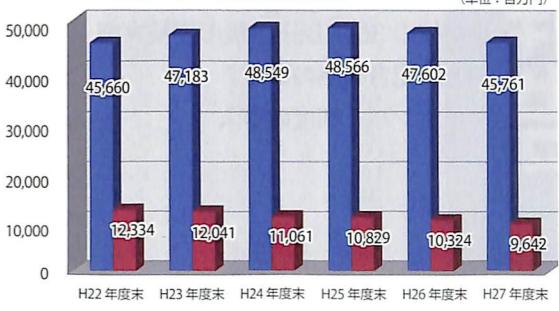
◎一般会計基金残高の推移

■その他の基金 ■財政調整基金 (単位：百万円)



◎市債残高の推移（公営企業会計分を含む）

■市債残高 ■実質の残高 (単位：百万円)



かほく市の健全化判断比率・資金不足比率

平成27年度のかほく市決算に基づく「健全化判断比率」および公営企業会計に係る「資金不足比率」については、監査委員の審査を受け、以下のとおり議会に報告しました。かほく市は全ての指標において、国の定める基準を下回る範囲内であり、今後とも健全財政の維持に努めます。

◆健全化判断比率

（単位：%）

比率名称等	平成27年度	平成26年度	適否 適：○ 不：×	健全化計画、 再生計画の作成基準	
				早期健全化 基準	財政再生 基準
健全化判断比率	実質赤字比率 (注)	— (▲8.56)	— (▲8.53)	○	13.25以上 20以上
	連結実質赤字比率 (注)	— (▲18.13)	— (▲18.92)	○	18.25以上 30以上
	実質公債費比率 (3ヵ年平均)	9.7	9.9	○	25以上 35以上
	将来負担比率	53.6	67.3	○	350以上

（注）実質赤字比率および連結実質赤字比率については、実質黒字であれば「-」表示となる。（ ）内は実質黒字を▲（マイナス）表示したもの。

◆資金不足比率

（単位：%）

対象会計名	平成27年度	平成26年度	経営健全化基準
水道事業会計	—	—	20以上
下水道事業会計	—	—	20以上

（注）資金不足比率については、算定の経過において資金不足が発生しない場合「-」表示となる。

資金不足比率の指標

（1）資金不足比率

公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率
・資金不足額：普通会計等の実質赤字に相当する額
・事業規模：料金收入など主たる営業活動から生じる収益等に相当する額

かほく市が長野県駒ヶ根市で交流イベント

10/9

長野県駒ヶ根市で開催された「第60回駒ヶ根商工まつり」に、かほく市が参加しました。平成25年度に駒ヶ根市と結んだ災害時相互応援協定締結をきっかけに交流が始まり、昨年に引き続き3回目の参加となりました。

今回は「食」をテーマに、「とり野菜みそ鍋」や「豚輝ワインナー」など、かほく市のおいしいものを販売し、地元の人と交流を深めました。



かほく市の「食」は大好評でした！

ご当地キャラ博 in 彦根 2016

10/15

滋賀県彦根市で開催された「ご当地キャラ博 in 彦根 2016」に、当市マスコットキャラクター「にやんたろう」が参加しました。

日本全国から約220キャラクターが集結し、歌や踊りを交えながら、ご当地のPRを行いました。

にやんたろうも来場者と握手をしたり写真を撮ったりと、かほく市をしっかりとPRしました。



彦根でも大人気！
にやんたろう



かほく市ブースも大盛況！

いしかわ食のてんこもりフェスタ

10/15～16

いしかわ食のてんこもりフェスタがいしかわ四高記念公園で行われ、かほく市からは「かほくコロッケ」とプレミアム能登豚の「豚輝ワインナー」が参加しました。

県内各地の「地域おこしのご当地グルメ」が一堂に会し、各店自慢のメニューが提供され、県内からは20グルメ団体に加え、タイやオーストラリアのご当地グルメなども加わり、合わせて約24ブースが出展し、会場内は大いに賑わっていました。



かほく市ブースも大盛況！

笑顔で元気に「おはようございます」 秋の全国交通安全運動 早朝街頭指導

9/21

かほく市では市民憲章の実践として、交通安全とあいさつを呼びかける運動を毎年行っています。

子どもから大人まで「あいさつ運動」の実践により「明るいかほく市」にしましょう。

また、一人ひとりが交通ルールを守り、交通事故のない、安全・安心なまちを目指しましょう。



気をつけていってらっしゃい！

金津交通少年団が交通安全手紙運動

9/27

秋の全国交通安全運動にあわせて、金津小学校の6年生児童17人が交通安全手紙運動を行いました。

昭和56年から続いているこの運動は、金津交通少年団の事業の一つで、午前7時に龜田神社で開始式を行った後、笠島地内の県道において、通行中のドライバーに、4～6年生児童が作成した交通安全を呼びかける手紙を手渡しました。



交通ルールを守りましょう

防犯カメラ設置に関する協定調印式

10/4

かほく市は、「一般社団法人 安全・安心まちづくりICT推進機構」と「自動販売機併設型の防犯カメラ設置に関する協定」を締結しました。

この協定により、市内で自動販売機併設型防犯カメラの設置を希望する事業所や一般家庭に、同機構を紹介することになります。

油野市長と同機構の後藤真之代表理事が協定書に調印しました。



後藤代表理事（左）と油野市長

災害時支援協定調印式

10/4

かほく市は、地図情報会社「株式会社ゼンリン」と「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」を締結しました。

この協定により、市はあらかじめ複数の住宅地図と広域図を無償貸与され、災害が発生した場合には、被害状況の把握や救助活動に役立てます。

油野市長と同社の荒木康博中部エリヤ統括部長が協定書に調印しました。



荒木中部エリヤ統括部長（左）と油野市長

故今村政男さん
「旭日単光章」を受章

8/24

故今村政男さん（大崎・83歳）が、長きにわたって旧宇ノ氣町議会議員などを歴任し、地方自治の発展に寄与された功績により、死亡証勅「旭日単光章」を受章されました。



故今村政男さん

まちの話題

身近な話題など、皆様からのお便りお待ちしています。
企画情報課 情報推進室

TEL 283-7112

かほく市子ども会が街頭募金活動

10/16

かほく市子ども会が、市内7か所のスーパーマーケット等で、赤い羽根共同募金活動を実施しました。

この事業は、かほく市内の子ども会全体会として行っているもので、参加した子どもたちは、元気な声であたたかい善意を呼びかけました。

寄せられた善意（96,875円）は、10月17日、市役所において、かほく市共同募金委員会会長の油野市長に寄託されました。



ご協力ありがとうございました！

西田幾多郎生誕の地・ゆかりの地交流事業

「西田幾多郎に会う」 9/24～25

西田幾多郎が若き日に赴任した山口市で、ゆかりの地交流事業を開催しました。24日には山口県立山口図書館で読書会と講演会を開催し、山口市内外から約200人の参加者が集いました。25日には西田幾多郎が当時下宿していた家の見学会が行われ、約50人が訪問しました。



西田幾多郎旧宅の見学会

高齢者支援センターだより

認知症にやさしいまちづくりシンポジウム

【問い合わせ先】
長寿介護課
TEL 283-7150

認知症についての理解を深め、たとえ認知症になつても安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりと一緒に考えましょう。

【日時】11月19日（土）9時30分～11時30分
【会場】かほく市高松産業文化センター 大ホール
【定員】200人（入場無料）

◆プログラム

9:00 受付・開場
9:30 開会・あいさつ
9:40 基調講演



10:40 認知症キャラバン・メイト寸劇「～高松に幸あり～」
高松地区の取組紹介

・岸川町「めざせ！いきいき百歳体操」
・認知症カフェ「広場ハマ大根」
・認知症予防ボランティアグループ「いちご会」

11:30 閉会

◆基調講演

テーマ：「認知症を学ぼう！」
講師：石川県立高松病院院長
北村 立氏



かほく市の介護認定を受けている方の3人に1人は認知症と診断されています。高齢社会を迎えた今日、認知症はひとごとではありません。

特に高松地区は、65歳以上の方の割合が32.2%と宇ノ気・七塚地区に比べて高く、65歳以上の7人に1人が介護認定を受けている状況です。

そこで、認知症の診療で全国的にも有名な地元の県立高松病院の北村先生に、認知症とはどんな病気なのか、最新の治療法と、地域で支えあうとはどんなことなのか、地域での暮らし・つながりの大切さについてのお話を伺います。

【主催】かほく市

【後援】河北都市医師会・石川県介護支援専門員協会河北支部、
かほく市と石川県立看護大学との包括連携に関する協議会

かほく市国民健康保険加入の方へ

人間ドック検査費用助成をご利用ください

【問い合わせ先】
保険医療課
TEL 283-7123

特定健診は受けましたか？受けていない方は、ぜひ人間ドック検査費用助成をご利用ください！

病気の予防・早期発見のために、年に一度は健康チェックをしましょう。

【対象者】

30歳以上75歳未満のかほく市国民健康保険加入者
※特定健康診査を受診された年度は、人間ドック・脳

ドックの助成の申請はできません。また、脳ドックの助成は隔年助成です。

※P E T検査は、特定健康診査または人間ドック・脳ドックの受検が必須です。



【助成金額】

種 別	助 成 金 額
人間ドック（1日）	25,000円
※人間ドック受診年度中に55歳になる方	35,000円
※人間ドック受診年度中に40歳になる方	全額
人間ドック（1泊2日）	45,000円
※人間ドック受診年度中に55歳になる方	55,000円
脳ドックのみ	34,000円
人間ドック + 脳ドック（同時受検の場合）	人間ドック助成金額 + 23,000円
P E T検査	20,000円

※上記の検査において、オプションの検査項目費用は対象となりません。

【医療機関での窓口負担金額】

- ・指定検査機関の場合
請求金額から助成金額を差し引いた差額分。
- ・その他の検査機関の場合
請求金額全額。後日、受診者の指定された口座に助成金額を振込みます。

【指定検査機関】

金沢医科大学病院、浅ノ川総合病院、金沢病院、
河北中央病院、石川県予防医学協会（1日コースのみ）、
KKR北陸病院

まちの話題

TOWN TOPICS

生涯スポーツ功労者表彰

（文部科学大臣表彰） 10/7

かほく市スポーツ少年団副本部長の中嶋千尋さん（内日角）が、生涯スポーツ功労者表彰（文部科学大臣表彰）を受賞しました。

長年、地域におけるスポーツの健全な普及・発展に貢献し、生涯スポーツの振興に顕著な成果を挙げた功績が認められました。

人権擁護委員法務大臣表彰

10/17

人権擁護委員の坂野俊紀さん（白尾）が、人権擁護委員法務大臣表彰を受賞しました。

長年にわたり人権擁護委員として人権啓発活動や人権相談等に積極的に取り組み、また、地域住民の人権思想の普及に努めた功績が認められました。

18日、市長室へ報告に訪れました。



中嶋千尋さん



坂野俊紀さんと油野市長

行政相談委員総務大臣表彰

10/7

行政相談委員の室井幸子さん（外日角）が、行政相談委員総務大臣表彰を受賞しました。長年にわたり行政相談委員として住民の身近な相談相手となり、行政とのパイプ役として活躍したほか、行政相談委員の制度周知にも尽力された功績が認められました。

14日、市長室へ報告に訪れ、石川行政評価事務所の石井正樹所長が同行しました。



（左から）石井所長、室井幸子さん、油野市長

石川県公民館連合会表彰

10/6

能美市根上総合文化会館で開催された第68回石川県公民館大会の席上で、高松公民館長の楠孝司さん（高松）が、石川県公民館連合会館長功労者表彰を、また、元木津公民館長の太田博行さん（木津）が、同館長退任感謝状を受賞しました。

長年にわたり公民館長として市の生涯学習の振興と地域社会の発展に努められた功績が評価されました。

石川県防犯功労表彰

10/5

石川県防犯功労表彰式が石川県警察本部で行われ、大海小学校安全ボランティア隊が、功労団体表彰を受賞しました。

長年、地域安全活動に尽力し、安全で安心なまちづくりに貢献したことが認められました。

東海北陸地区子ども会連絡協議会表彰 10/1

東海北陸地区子ども会連絡協議会表彰 10/1

かほく市子ども会の浜本博範さん（白尾）が、東海北陸地区子ども会連絡協議会表彰を受賞しました。

長年、市子ども会七塚支部および市子ども会の会長として、地域の子ども会のリーダー育成や指導者の養成など子ども会の運営に尽力された功績が認められました。



楠孝司さん

太田博行さん



代表の中田正光さん



浜本博範さん